



平成 19 年 4 月 16 日

各 位

株 式 会 社 ジ ク ト
代表取締役社長 木 村 環
(コード番号 9901 : JASDAQ)
問合せ先 取 締 役 安 野 真
TEL (028) 625 - 0038

平成 19 年 2 月期業績予想の修正について

平成 18 年 10 月 31 日に中間決算短信で発表しました、当社の平成 19 年 2 月期 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日) の業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせします。

記

1. 平成 19 年 2 月業績予想の修正

(1) 連結の業績予想数値の修正

(単位 : 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純損失
前回発表予想 (A) (平成 18 年 10 月 31 日)	17,602	84	8,244
今回修正予想 (B)	16,943	113	8,479
増減額 (B - A)	659	29	235
増減率	3.7%	34.5%	2.9%
前期実績(平成 18 年 2 月期)	20,417	823	1,519

(2) 個別の業績予想数値の修正

(単位 : 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純損失
前回発表予想 (A) (平成 18 年 10 月 31 日)	17,427	46	8,573
今回修正予想 (B)	16,934	39	8,878
増減額 (B - A)	493	7	305
増減率	2.8%	15.2%	3.6%
前期実績(平成 18 年 2 月期)	20,218	750	1,301

2. 業績予想修正の理由

(連結業績予想の修正理由)

売上高については飲酒運転取締り強化、ノロウイルス流行等により、計画に対して659百万円減少しましたが、業務の効率化、仕入及び経費のコストダウンにより経常利益は計画に対し29百万円増加する見込みです。

当期純損失につきましては期末に5店舗減損処理145百万円を行ったこと、閉店損失引当金繰入額169百万円を計上したことから計画に対して235百万円増加する見込みです。

(個別業績予想の修正理由)

個別の業績についても飲酒運転取締り強化、ノロウイルス流行等により売上が減少しましたが業務の効率化、仕入及び経費のコストダウンにより経常利益は計画に対し7百万円増加する見込みです。

当期純損失につきましては期末に上記のとおり5店舗減損処理を行ったこと、閉店損失引当金繰入額を計上したことから計画に対して305百万円増加する見込みです。